

# 夢の途中！

平成27年4月就任以来、もの凄いスピードで明和町の活性化事業に取り組んで来ました。そして、今つくづく思うことは、夢は実現するためにあるということです。

恩田前町長と私で川俣駅の計画を作ったときは、役場職員や地域の皆様からそんな夢みたいなことが出来るはずがないと鼻で笑われていました・・・(悲しい)。それが、この2年間で川俣駅橋上化工事、そして駅周辺整備事業、国道122号バイパス工事、川俣駅から工業団地を真っ直ぐつなぐ道路工事、メイワケンゾー誘致、川俣駅前居酒屋誘致、大輪西工業団地へ日本基礎技術(株)東日本機械センター誘致、大輪東工業団地買収事業及び誘致企業選定作業、防災行政無線工事、防犯カメラ設置工事そして東部ふれあいセンター「スズカケ」の建設と休む暇もなく事業化をして取り組んで来る事が出来ました。これも地権者を始めとする町民の皆様のご理解とご協力の賜物と感謝をしております。また、正直な話、役場職員もよく付いてきました。悲鳴を上げそうなスケジュールでも、「やれば出来る！」とやる気を鼓舞し続けて来た甲斐がありました。そして、気がついたことがあります。役場職員はいくら詰め込んでも出来る能力があり、普段は「出し惜しみ」をしているんだと言う事です。つまり、これからも忙しいスケジュールで明和町の活性化事業に取り組んでも、「何のこれしき」と立ち向かってくれる多くの優秀な職員がそろっていると言う事です。ですから、勿論これからも果敢に取り組んでまいります。

これからの明和町は西部地区にふれあいセンター「ポプラ」が建設されます。そして、平成32年までに高速道路の両側が工業団地になります。その南には明和町最終処分場エコパークを建設中です。さらに、その南側に防災基地を建設しようと今、国土交通省と協議に入りました。さらに、31年までに入ヶ谷・矢島地域に道路（工業団地線北回り）を通し、その両側を市街化編入し、122号バイパスを使った道路サイド（ショッピングセンター等）事業などを誘致し、「買い物と食事が出来る明和町」を実現しようと画策しております。さらに、そのショッピングセンター等と一緒に明和町物産館を作って、町の花、梨や農産物なども売れる場所も整えていきます。そして、駅の東側に医療関係施設を誘致できれば良いなと考えております。さらに、大輪工業団地の最後に残った南側（大輪中工業団地（仮称））に優良企業を誘致すれば、災害が少なく財政力豊かな町、地元で就職が出来る町、地元で買い物と食事が出来る町、そして地元で子育ても教育も出来き、医療も充実した安全安心の明和町が出来上がります。

そんな「オールインワンの町づくり」に、これからも果敢に「優秀なる役場職員」と取り組んで行きます。まだまだ夢は始まったばかりです。まさに夢の途中です！

平成29年5月29日

明和町長 富塚もとすけ